

ミュージアムへのいざない ～沖繩本島編～

みなさんは、沖繩県内の博物館／博物館等施設を訪れたことがあるでしょうか。趣味で巡っていたり、受講中の講義に関係があって足を運んだり、そして全く行ったことがない方もいるでしょう。

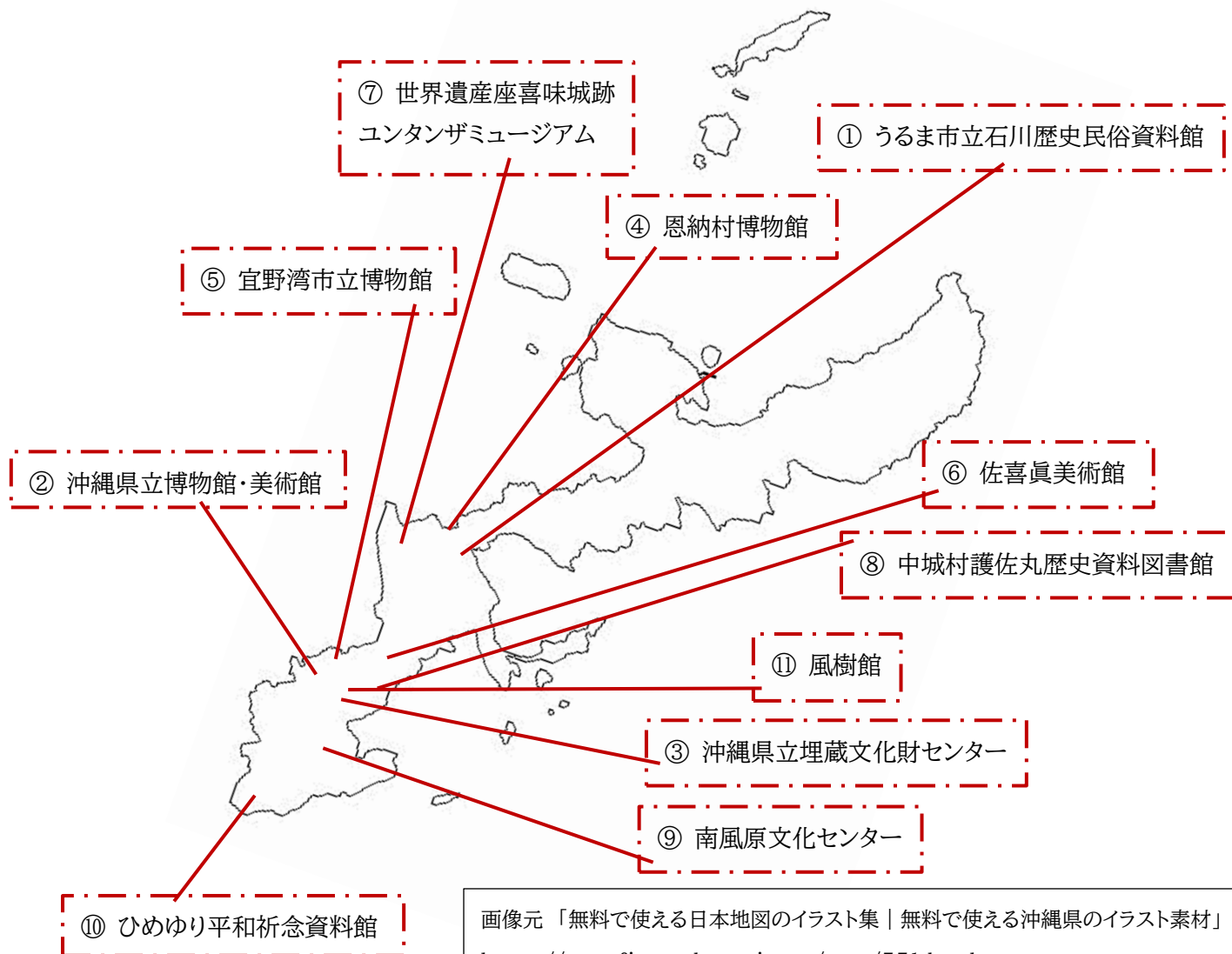
沖繩県内には2021年5月時点で、89ヵ所もの博物館等施設が存在します※。今回は、私自身がおすすめる沖繩本島内の博物館／博物館等施設をご紹介します。講義の空き時間にでも、気軽に足を運べるような、琉球大学構内や近辺に位置する施設も選んでいます。

博物館の強みは、視覚や聴覚、時には触覚によって、自ら体感して学ぶことができる点ではないかと思います。大学での学びも、もちろん興味深いですが、別の視点からの学びを加えることは、知識の刺激になると考えます。皆さんにも博物館を活用していただいて、学びを深めてほしいです！

特に、進学を機に沖繩で生活を始めた方は、沖繩に対する理解を深めるためにも、見学していただきたいです。そして、今回紹介した所以外にも、ぜひ足を運んでみてください！

※ 沖繩県教育庁文化財課(2022)「文化財課要覧(令和3年度版) VII博物館に関すること」p.24-26 参照。

☆ おすすめの博物館等施設(番号は50音順でつけ、p.2-4の紹介文と対応させています。)



画像元「無料で使える日本地図のイラスト集 | 無料で使える沖繩県のイラスト素材」
<https://map.finemakeyuri.com/map/551.html>

☆ おすすめの博物館等施設(番号は50音順でつけ、p.1の地図と対応しています。)

① うるま市立石川歴史民俗資料館(うるま市)

開館時間:9時~17時 休館日:毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始

公式HP:<https://www.city.uruma.lg.jp/culture/139/1277/1282>

主に、戦後の沖縄の事情を知ることができる資料館です。沖縄戦時、米軍が本島に上陸した海岸からの地理的位置もあって、現在のうるま市石川地区では、早期に「戦後」を迎えました。この地区にできた収容所を起点として、「日常」を取り戻そうと動く人々の様子が、展示から分かります。その中でも、終戦直後に建てられた住宅である「規格住宅」の再現は、あまり他館でも見る事が無く、とても興味深いです。また、民具の展示も豊富です。

② 沖縄県立博物館・美術館(那覇市)

開館時間:9時~18時 休館日:毎週月曜日・メンテナンス休館・年末年始

公式HP:<https://okimu.jp>

県立ということもあり、沖縄全体の歴史・文化を知るには、やはり欠かせない博物館です。博物館の常設展で、歴史や自然が学べることはもちろんですが、美術館の作品にも、時代を反映させたものがあり、併せて見学することをおすすめします。また、大規模な企画展や、バックヤードツアー・講座といったイベントも、多く開催されています。このように充実した館内では、1日かけて見学を楽しむことができます。カフェなどの休憩スペースもありますよ。

③ 沖縄県立埋蔵文化財センター(西原町)

開館時間:9時~17時 休館日:毎週月曜日・祝日・年末年始・慰霊の日

公式HP:<https://www.pref.okinawa.jp/edu/maizo/madoguchi/soshiki/maizo/>

埋蔵文化財センターは、琉球大学病院と医学部の間近に位置しています。その名の通り、県内の遺跡から掘り出された遺物を管理しているところで、県の教育委員会が運営しています。定期的に、発掘速報展といった企画展や、講座を行っているため、何度行っても学びが得られる場所となっています。夏休み期間を中心に、子ども向けの体験や講座にも力を入れています。また、常設展でも、月に1度、展示品が変わる「まいコレ」というコーナーがあります。

④ 恩納村博物館(恩納村)

開館時間:9時~17時 休館日:毎週月曜日・祝日の翌日・6/24・年末年始

公式HP:<https://onna-culture.jp/museum>

国指定史跡の仲泊遺跡や、人気施設の「おんなの駅 なかゆくい市場」に隣接する博物館です。この館は、実物資料の並び方や、情報提示の仕方などが見やすい展示だと、個人的に思っています。常設展のはじめに、海と人々との密接な関係が分かる展示があり、道を挟んで海に面した立地も相まって、説得力が感じられます。博物館と同じ建物内にある「恩納村文化情報センター」(図書館設備あり)も、博物館同様おすすめです。

⑤ 宜野湾市立博物館(宜野湾市)

開館時間:9時～17時 休館日:毎週火曜日・祝日・年末年始等

公式HP:<https://www.city.ginowan.lg.jp/soshiki/kyoiku/1/2/index.html>

県指定名勝である、「森の川」近くに位置しています。松並木からはじまる常設展では、先史時代から現代にかけての宜野湾の様子を知ることができます。その中で、実際に触れて学べる展示があったり、関連する映像を見たりできます。また、定期的に、宜野湾の各字に焦点を当てた企画展を実施しています。そして「市民講座」が、講演と野外という、それぞれの形式で盛んに行われています。博物館の外にも、とある展示があるため、見逃さないようにしてください！

⑥ 佐喜真美術館(宜野湾市)

開館時間:9時30分～17時 休館日:毎週火曜日・旧盆・年末年始

公式HP:<https://sakima.jp>

普天間基地の間近にある、私設の美術館で、1994年に開館しました。実は基地の返還地であり、建物の屋上からは、普天間基地を見渡すことができます。この館のメインの展示は「沖縄戦の図」という、丸木位里・丸木俊作の巨大な絵画で、戦場の恐ろしさを感じられる、とてもパワーのある作品です。他にも、多くの作品が随時入れかえられ、展示が行われています。展示を見て、戦争と平和について、芸術の面から向き合い、考えることができます。

⑦ 世界遺産座喜味城跡 ユンタンザミュージアム(読谷村)

開館時間:9時～18時 休館日:毎週水曜日・年末年始等

公式HP:<http://www.yuntanza-museum.jp>

名前の通り、世界遺産である座喜味城跡のすぐ近くにあり、2018年にリニューアルオープンした博物館です。読谷に詳しくない人でも、まずは入館してすぐの場所にある、導入部の展示を見ることで、この地域の歴史をしっかりと理解できるかと思います。この博物館自体が広く、展示も豊富なので、じっくり見ることをおすすめします。その上で、座喜味城跡の見学をより楽しんでみてください。また、少しですが、金城次郎の陶器など、美術品の展示も行っています。

⑧ 中城村護佐丸歴史資料図書館(中城村)

開館時間:10時～17時 休館日:毎週火曜日・祝日の翌平日・慰霊の日・年末年始等

公式HP:

<https://www.vill.nakagusuku.okinawa.jp/detail.jsp?id=95547&menuid=16087&funcid=1>

その名の通り、メインの機能は図書館なのですが、その一角には「中城歴史展示室」があります。ここでは主に、世界遺産である中城城跡や、築城に携わった護佐丸に関する展示などがパネルにまとめられ、学ぶことができます。また、館内では、中城村に関連する映像を見ることができます。こちらも、定期的に企画展が開催されています。ぜひ、展示室と図書館ともに、学びの場として活用してください。

⑨ 南風原文化センター(南風原町)

開館時間:9時～18時 休館日:毎週水曜日・年末年始

公式HP:<https://www.town.haebaru.lg.jp/docs/2020122100028/>

この館は、沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号の近くにあり、館内でも壕内の再現展示があることから、平和学習の場所として知られています。ですが、壕や沖縄戦だけではなく、南風原の戦後や移民、民俗資料の展示もあります。戦後期の展示にあるマチャグラー(商店)の再現や、民俗の展示での住居を再現した展示は、細部まで興味深いものとなっています。企画展やイベントなどが盛んに行われ、楽しんで参加をしつつ学べる場所になっていると思います。

⑩ ひめゆり平和祈念資料館(糸満市)

開館時間:9時～17時25分 休館日:なし(年中無休)

公式HP:<https://www.himeyuri.or.jp/JP/top.html>

沖縄戦時に学徒動員された、ひめゆり学徒隊に関する資料館です。実際に訪れると、初めの展示室で学生の写真や活動の様子を見ることができ、親近感がわくと思います。そして、その上で学徒隊としての戦争体験を見ることが、より平和の大切さを身に染みて実感することに繋がります。2021年に展示がリニューアルされ、以前訪れた人も再び学べる場になっていると思います。また、資料館では、ひめゆり学徒隊だけではなく、沖縄の全学徒隊／学徒兵にも注目しています。

⑪ 風樹館(西原町:琉球大学構内)

開館時間:10時～16時 休館日:土・日・祝日・年末年始

公式HP:<https://fujukan.skr.u-ryukyu.ac.jp>

風樹館は、前身の施設の影響もあり、イリオモテヤマネコの標本といった、自然系資料が豊富に所蔵されています。ですが、琉球大学とゆかりがある、首里城関連の収蔵品など、文化系の貴重な資料も所蔵しています。館の横にあるビオトープも忘れずに見学してください。「地域へ開かれた大学」であるため、学外からの見学者も受け付けていますが、せっかく琉大内にありますから、「琉球大学の学生」である間に、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

※情報は2022年10月現在のものです。詳細や最新情報は、公式HP等をご確認ください。

参考

沖縄県教育庁文化財課(2022)「文化財課要覧(令和3年度版) VII博物館に関すること」

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/edu/bunkazai/bunkazaikayouran/documents/07r3.pdf> ,
(最終閲覧:2022/10/25).

(地域共創研究科 M1 歴史系 TA)